

管理事業名	し尿処理事業			総合計画の体系	第5章 第3節	環境を守り育てるまちづくり 環境を基調とするまちづくり
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 4	衛生費	(項) 2	清掃費	(目) 3 し尿処理費
部局名	環境部	予算執行所属	事業課			
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名					
し尿収集運搬処理事業	(款)衛生費(項)保健衛生費(目)公衆便所維持管理経費 公衆便所維持管理事業					
事業課業務グループ庁舎施設管理事業	(款)消防費(項)消防費(目)災害対策費 災害用簡易トイレ管理事業					
事業の目的と概要						
<p>・し尿処理事業は、廃棄物処理法及び浄化槽法に基づき、くみ取り便所及び浄化槽を設置している一般家庭・事業所からのし尿収集や浄化槽汚泥等の搬入受入れを行い、公衆衛生の向上を図ることを目的としています。主な業務内容は次のとおりです。</p> <p>・し尿収集業務は、し尿収集運搬業務委託及び仮設トイレの収集受付、し尿処理手数料の徴収業務を行っています。</p> <p>・浄化槽清掃受付業務は、浄化槽清掃業許可業者からの浄化槽等の清掃受付及びし尿処理(浄化槽)手数料の徴収業務を行っています。</p> <p>・事業課業務グループ庁舎施設管理業務は、し尿及び浄化槽汚泥等の搬入受入れの施設として、適正な管理運営を行っています。</p> <p>・公衆便所維持管理業務は、高浜神社内の公衆便所の維持管理を行っています。</p> <p>・災害用簡易トイレ管理事業は、屋内型簡易トイレで使用する凝固剤等消耗品の使用期限に合わせて入替更新を行っています。</p>						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	成果指標の定義
し尿収集延件数	件	9,852	9,625	9,211	年間し尿収集延件数
浄化槽清掃受付延件数	件	484	428	411	年間浄化槽清掃受付延件数
成果説明	<p>・し尿の収集は、地域ごとに収集日を定めた2週間に1回の定曜日収集を行っています。公共下水道の普及により、し尿収集延件数は減少傾向です。</p> <p>・浄化槽の清掃は浄化槽清掃業許可業者から清掃受付を行い、汚泥の受入れを行っています。浄化槽の設置基数の減少に伴い浄化槽清掃受付延件数も若干の減少です。</p>				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	4,674	4,743	3,612	△1,131
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	194	160	142	△18
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	-	-	50	50
経常収入 小計(a)	4,868	4,903	3,804	△1,099
給与関係費	29,277	36,264	36,045	△219
物件費	28,600	29,158	29,130	△28
維持補修費	994	500	1,008	508
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	8,507	7,531	6,798	△733
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	5,445	5,436	5,436	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	2,368	3,038	3,090	52
退職手当引当金繰入額	1,762	9,827	2,496	△7,330
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	76,953	91,753	84,003	△7,751
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△72,086	△86,850	△80,198	6,652
特別収入	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△72,086	△86,850	△80,198	6,652
一般財源充当額	67,604	74,958	75,548	591
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△4,482	△11,893	△4,650	7,243

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
使用料及び手数料	し尿処理手数料 3,602千円
経常収入 その他	電話加入権過年度遡及登録に伴う過年度損益修正益50千円
物件費	し尿収集運搬業務委託料 25,577千円 庁舎機械警備業務委託料 866千円 庁舎光熱水費 870千円 公衆便所光熱水費 34千円 災害用簡易トイレ消耗品費 281千円
負担金・補助金・交付金等	し尿処理費負担金 6,798千円 し尿浄化槽汚泥等の搬入量の減によるものです。

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	4,885	4,903	3,754	△1,149
行政サービス活動支出	72,489	79,861	79,303	△558
行政サービス活動収支差額	△67,604	△74,958	△75,548	△591
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△67,604	△74,958	△75,548	△591
一般財源充当額	67,604	74,958	75,548	591
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動収入) し尿処理手数料 3,602千円 (行政サービス活動支出) し尿収集運搬業務委託料 25,577千円
----------	---

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
し尿及び浄化槽汚泥等1%あたりのコスト	平成26年度	2,241,920 円	34 円	し尿及び浄化槽汚泥等1%あたり47円のコストがかかっています。
	平成27年度	1,978,790 円	46 円	
	平成28年度	1,799,010 円	47 円	
	平成26年度		円	
	平成27年度		円	
	平成28年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	3,038	3,090	52
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	3,038	3,090	52
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
事業用資産	208,585	203,149	△5,436	固定負債	35,732	34,944	△788
有形固定資産	208,585	203,149	△5,436	地方債	-	-	-
土地	134,145	134,145	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	74,440	69,004	△5,436	退職手当引当金	35,732	34,944	△788
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
無形固定資産	-	50	50	負債の部合計	38,770	38,034	△736
インフラ資産	-	-	-	純資産	169,815	165,165	△4,650
有形固定資産	-	-	-	地方債	-	-	-
土地	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	退職手当引当金	35,732	34,944	△788
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
重要物品	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
図書館資料	-	-	-	負債及び純資産の部合計	208,585	203,199	△5,386
投資その他の資産	-	-	-	純資産の部合計	169,815	165,165	△4,650
出資金	-	-	-	地方債	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	長期借入金	-	-	-
基金	-	-	-	退職手当引当金	35,732	34,944	△788
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他債権	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
資産の部合計	208,585	203,199	△5,386				

Ⅲ 財務構造分析

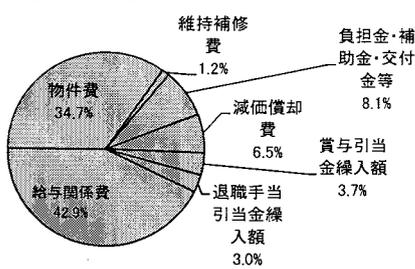
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用		非常勤	臨時雇用員 年間従事延日数	審議会委員等 実人数	合計(千円)
	月平均	人				
5	41,631	千円				41,631
給与関係費等	356	千円				
内、時間外勤務手当						

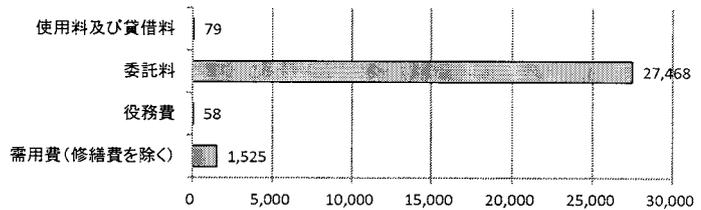
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	事業課業務グループ庁舎減価償却による5,436千円の減
無形固定資産	電話加入権

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	事業課業務グループ庁舎
取得年月日	昭和51年(1976年)5月1日
建物・工作物の取得価額	520,380 千円
建物・工作物の減価償却累計額	451,376 千円
利用料金収入	- 千円

▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率		0.2	0.1	0.2	0.1
施設老朽化比率		84.7	85.7	86.7	1.0
受益者負担比率		6.1	5.2	4.3	△0.9
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		93.3	93.9	95.3	1.4
経常費用対公共資産比率		14.8	17.6	16.1	△1.5

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は53.9%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常収入の主なものにつきましては、使用料及び手数料のし尿処理手数料が3,602千円、府支出金の移譲事務交付金が142千円となっています。経常費用の主なものにつきましては、給与関係費36,045千円(42.9%)、物件費29,130千円(34.7%)、負担金・補助金・交付金等6,798千円(8.1%)、減価償却費5,436千円(6.5%)などとなっています。物件費の主な内訳としては、委託料が94.3%で多くを占め、主な内容はし尿収集運搬業務委託料が25,577千円、庁舎機械警備業務委託料などの施設管理委託料が1,891千円となっています。減価償却により建物資産が5,436千円減少し、69,004千円となっています。事業課業務グループ庁舎の老朽化率が86.7%で、市保有施設全体の老朽化比率53.9%と比べても老朽化率が進行している施設です。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

事業課業務グループ庁舎は、平成15年度末で廃止になった旧化学処理場(し尿処理施設)を使用しており、建設後41年が経過し老朽化が進行していることから、大規模修繕の必要性もありますが、厳しい財政状況の中、維持補修費の予算内で経年劣化による必要な修繕を行っているのが現状です。し尿処理事業は、公共下水道の普及によりし尿収集件数やし尿収集量が減少していくなかで、し尿収集運搬の全面委託化やし尿処理施設の廃止など事業の効率化を図ってきました。一般廃棄物(し尿)の処理は市の責務として今後も必要な事業です。